

世界に希望を生み出そう

<本年度クラブ会長方針>

繋ごう『クラブの心』、築こう『クラブのさらなる繁栄』を

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 丹下富博 事務局 名古屋市中区栄4-7-10 栄第8口イナルビル6F
幹事 大上晃延 電話(052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

第1927回例会

水と衛生月間

令和6年3月21日(木)

新会員卓話

於名古屋東急ホテル 会員65名

出席計算数

61名中51名出席

出席率 83・61%

前々回出席率 85・71%

例年プログラム

R財団ハネウアクターノール
ハリスフェロー表彰・バッジの進呈

★新会員卓話

ロータリーソング

「奉仕の理想」

指揮者 鬼頭 茂成
ピアノ伴奏 富板 玲子

ピクチャー

名古屋RC 山口 茂樹さん

ニコボックス

宇野さん、安江さん、森さん、卓話
楽しみにしています。丹下 富博

大上 晃延・岡村 隆徳
藤田 澈・加藤巳千彦

娘が第一志望校へ行くことが出来
ました。 横川 誠人

新会員卓話楽しみにしています。

原 幸一・西垣亜矢子
西脇 良輔・鷺津 光悦

宇野さん、安江さん、森さん、卓話
よろしくお願ひします。 リラック

スーリラックスー結婚記念月です。

近藤 明美

新会員卓話お願いします。

飯田 昭夫

ミケタ会に入会しました。

岡田 尚彦

お陰さまで51回目の結婚記念月
です。 吉田 隆彦

河合 誠弥さんお世話になりました。
松岡 毅

今日は寒いですね。 横井 衛
誕生日です。 長尾亜都沙

会長挨拶

Rotary ホームページの最新一
ニュースにこんな記事がありました。

「ウクライナではこの2年間に5
00人以上の新会員がクラブに入

会した。この会員増強のおかげで、
地区では新会員勧誘に時間を費や

す必要はほとんどありませんで
した。代わりに、その時間を使って、

ロータリー会員であることの意義
を新会員に教え、積極的参加を促

している。」との事です。

ロシアがウクライナに侵攻して
から2年が経過した現在も、世界

中のロータリー会員が資金を集め、
医薬品や燃料などの生活必需品を

被災者に送り続けています。ロー
タリー財団が特設した救援基金に

は、世界中から1,740万ドル
(日本円で220億円)の寄付が

寄せられました。この寄付は、3
750以上の補助金としてロータ

リー会員によるさまざまな支援活
動に活かされました。

また、世界各地で多くのロータ

リークラブと地区が地元でウクラ

イナ支援のための人道的活動に乗

り出しました。第2232地区(ウ

クライナ)との連携の下、これら

の支援活動によって医薬品、医療

機器、救急車、発電機、暖房用燃料、

冬用備品などの救援物資が被害者

に届けられました。

2022年2月24日のロシアの

ウクライナ侵攻以来、ウクライナ

でロータリーの存在感が高まった

と、第2232地区のバスターガバ

ナー、ミラ・スタビヤンコさん

は言います。「以前よりも活発に活

動しており、組織としてさらに確

立された。」「地元の人たちから多

くの支援要請が寄せられ、国外の

た。この委員会は、国外と国内の

クラブ・地区を結びつけています。

ウクライナのこの例は会員とな

ることのメリットは、そのような

逆境の中でも生まれるということ

だと実感できます。仲間とともに

地域の課題やニーズを話し合い、

解決策を考え、取り組む。世界を

変えるために行動するリーダーた

ちとながる。多くの学びの機会

を通じて、人間的・職業的に成長

する。多くの素晴らしい人と出会

い、生涯つづく友情を培う。

今一度、我々の活動について振

り返ってみたいと思います。

新会員卓話

「今の造園について」

宇野 史也さん

今の造園は1980年代を以

て一般住宅では低下しています。



と共に使う植栽は変わっていく事も感じました。

ちょっと前に流行ったシマトネリコはメインとして使うことが多かったですが、今はほとんど出ていきません。何故ならば大きくなりすぎるからです。常緑樹は剪定が必要で、剪定をすると樹木は枝が枯れないように新しく芽吹きます。それを繰り返していくとどんどん大きくなるのです。確かに職人それぞれで剪定の仕方は違いますが、今はほとんど職人というより、グリーンキーパーという名前がふさわしいのかも知れません。こだわりの剪定をする？しない？正確には出来ないのかも知れません。知識を得るために経験を積むことの大切さはこの歳になり大変貴重なものとなりました。これは現場で作業しなくては得られない経験なので職人として従事してきたことに誇りを持っております。

剪定の種類は刈込、枝抜き、透かし、手もみと色々あるのです。ただ切れば良いわけではなく全体に風が通るようにすること、風が通ることで湿気を防ぎ、樹木の病害虫を防ぎます。刈込は比較的玉造にしたいツツジなどを主とした剪定で使います。枝ぬきは中木、高木で必ず1番上の頭から順に作業をします。それをしないと全体のバランスが崩れ綺麗な形ができません。しかしなかなかそれを理解



してくれる施主も今は少なく、さっぱり、綺麗になればいいとよく言われてしまっています。それが職人の質の低下、仕事の魅力の低下に繋がっているのかも知れません。

人にとって植栽は二酸化炭素を吸込み酸素とかがえる力がありますが、それを個人は必要とせず、地域の植栽に頼ることが多いです。人が手を加えて環境破壊を繰り返して温暖化が進んだ事実をなかなか当事者は気がつくことがないので。植栽は手入れが大変だから要らないと施主からは言われることもあります。統計を取ったわけではないですが、新築外構工事の場合ですが、200万円以下の工事の場合約60%、300万円から500万円は80%、それ以上のお客様は100%植栽を植えられます。自分の収入に応じて植栽を入れる入れないも変わってきています。話しは少し変わりますが最近タレントのヒロミさんがスチロール壁を使って色々やっているのをテレビをよく目にします。今コンクリート擁壁にしようと思うと2メートルの高さの壁をなら1メートル辺り30万円近くの金額がしまつのですがスチロール壁はその

半分ほどの金額なので注目を浴びています。実は我が社もスチロール壁を開発しており、あれほどの知名度は無いですが、多くの受注を頂いております。まだ対風圧検査などをしっかりとしていないのですが月末大学で打ち合わせしてしっかりと数値を出してきたら本格的に販売を始めます。スチロール壁は住宅の外断熱と同じで、それに囲まれているだけでも温かいです。我が社では高さ重視では無く、機能性重視として、より多くの人に使用していただけるように改良を重ねて行くつもりです。

時代と共にすべてが変化をしていきます。少子化問題、人口減少インバウンド増加、円安ドル高変えることは出来ません。その都度対応していかなくてはなりません。それだけ日本だけという市場では無くなったということだと思えます。見た目だけならメイドインチャイナでいいという方は多くみえられます。私も平日使ってしまうものなどはそのように使っています。全てが全て日本製というものはもうなくなってしまうのでは無いでしょうか？

日本は地震が最近特に多く、どこにいても安心するところは無いです。だからこそ建築もしっかりとした基準で倒壊を防いでいます。外構工事と同じでより安全性を求められます。ゲリラ豪雨、今までにない突風、昔では無かった現象

が次々と起こります。それに対応していくべき、スチロール壁の開発、透水性確保の土壌改良が求められると思います。

最後に世の中の二極化がすごい時代になってきたと思います。その差が埋まることは無いのかなと思います。心のゆとりは日々の生活に現れます。そのゆとりを保つためにも植栽を眺めたり、触れ合ったりすることはとても大切なことだと思います。仕事をしているからではなく、植栽を触れて生命を感じることは大切だと思います。子供は親を見て成長します。私も子供に精一杯やっているか自分でも疑問があります。今やるべきことは未来のために仕事をどう活かしていくのかだと思います。そんなことは1人では出来ませんが、ロータリーを通じて仕事を活かしていくことが出来ればと前々から思っております。少しでも皆さんの役に立てること、未来に繋がることを私たちはやっていくことが大切だと思います。

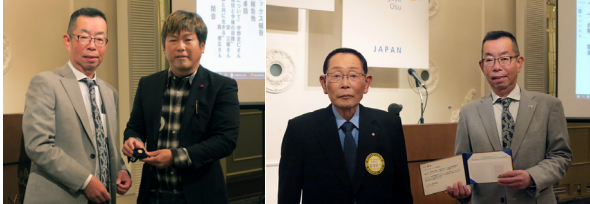
新会員卓話

「産業界の現状と今後の目標」  
安江 優さん  
(次号以降に掲載致します。)

新会員卓話

「11の発展と共に生きよう」  
森 泰広さん  
(次号以降に掲載致します。)

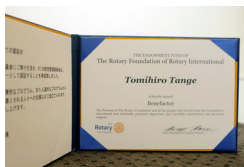
ロータリー財団表彰・バッジ進呈  
ベネファクター 丹下 富博さん  
ポール・ハリス・フエロー  
(1回目) 宇野史さん



ロータリー財団より、ベネファクター認証状と記念の襟ピンが丹下富博会長へ、ポール・ハリス・フエロー認証バッジが宇野史仁さんへ贈られました。多額の寄付を頂きありがとうございます。ありがとうございました。

ベネファクター 遺言またはその他の遺産計画にR財団恒久基金を1,000ドル以上の受取人として指定した方、恒久基金に1,000ドル以上を現金で寄付された方。

ポール・ハリス・フエロー 年次基金、ポリオプラス、承認された財団補助金のいずれかに1,000ドル以上寄付した方。



公共イメージ向上委員会

近藤 明美・小澤 幸男  
松本 哲朗・桑山 光俊  
\*本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。